

会社と他労組は責任を取れるのか!?

一週間前で具体的説明も訓練もなし

動労水戸

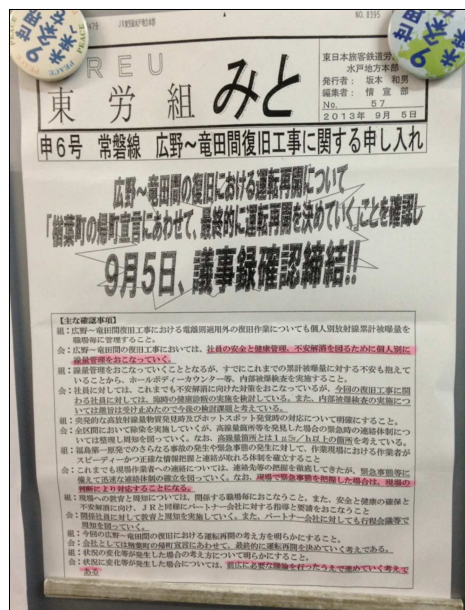
国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三、一、三
発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史
電話 029-227-6020
FAX 029-227-6291

「今までどおりの仕事」は
真つ赤なウソだった!

会社は現場の疑問にまともに答えることなく、昨年同様に10月1日からの誘導・構内計画業務の外注化のために強制出向の事前通知を強行しました。現場では説明会と定訓が行われていますが、とにかくがむしゃらに外注化を進めようとするためのものでしかありません。肝心の異常時の対応も無視されています。当然のように「こんな説明で業務などできない!」と現場では怒りがあふれています。さらに、JRもMTSもこれまで「出向者は今までどおりの仕事をやってくれない」と言っていたのが、今回の外注化では、今まで入換計画をやったことのない労働者にもやらせようとしていたり、誘導の仕事も構内運転士にやらせるといふことが行われようとしています。「今までどおり」とは真つ赤な嘘、「今まで以上の仕事もやってみよう」といふことなのです。

にもかかわらず、動労水戸以外のすべての組合は、昨年以降



山積してきた問題を放置したまま、さらに混乱をもたらす誘導・計画の外注化を妥結しました。組合は、現場組合員の命や健康、未来のためにあるはずなのに、どんなにおかしくて間違った施策でも、会社の利益を優先させて、結局労働者を折れさせる役割を果たしているのです。それは組合員ではなく、組合幹部の立場を守るためなのです。

常磐線竜田延伸と被曝労働を容認する他労組

その今一つの証拠は、K544をはじめとする被曝労働問題から逃げ続けてきたJR東

労組水戸地本が、9月5日に広野〜竜田間の運転再開について議事録確認を締結したと発表した(水戸運輸区掲示板に掲載・上写真)ことです。国労水戸地本も、復旧工事を進めるための会社との交渉を8月23日に既に妥結しています。会社同様、労働者の命も健康も未来も真剣になど考えていない。日本の政治家同様、つねに目先の利益で動いている。「組合活動」とは名ばかりの、労働者を守ることはかけ離れたパフォーマンスばかりです。

私たちは、放射能の脅威、特に内部被曝の深刻な影響について学び、訴えてきました。会社は一切まともな回答ができません。ただただ「政府が言うから安全」と言うだけです。外注化にして、被曝労働にして、現場労働者の意見は一切無視され、「上の言うことには逆らえない」と言うだけです。だから、

どういう結果になっても誰も責任は取りません。同僚仲間などと言っても口先だけ、実際にやっていることを見れば、自分たちが生き残ることしか考えていないのです。本当に仲間を思うなら、もっと真剣に闘うはずではないでしょうか。

考えてみて下さい。竜田延伸が檜葉町住民の願いなのか? 会社や東労組が言うのは本当だろうか? 広野町にはどれだけの住民が帰ったのか? 震災と原発事故から3年、事故は何ら終わっていないのに仮設住宅も補償も切りたい、だから10キロ圏であっても、除染などできていなくても戻りなさいといふのが竜田延伸の目的です。いわきで働く仲間が被曝労働を拒否すれば、この目的が果たせなくなるのです。皆さんの健康や安全なんてまるで考えていないから竜田延伸など提案できるし、妥結できるのです。

一方でまるごと外注化による強制出向と転籍の道。他方で被曝労働強制による安全と健康破壊の道。こんな許しがたい攻撃と、労組幹部の裏切りを許していいのでしょうか? 毎月の賃金から組合費を払っているのに、「組合は頼りにならない」と多くの仲間が口にします。そのような組合にいる意味とは

何なのでしょうか?

現場労働者の決起に勝負がかかっている

9月20日に予定されていた、動労総連合が東京地裁に提訴している強制出向差止裁判が延期になりました。会社は、出向者の労働条件は変わらないし不利益はないと言ってきた。裁判官も会社の立場に立ってきた。しかし、外注化の実態があまりにもひどいため、動労総連合が出した「請負業務の契約書に対する文書提出命令」について、裁判所はJRに対して提出を検討させるところまで来たのです。しかも、契約書が会社に偽装されないように公証役場の証明付出すことを命じたのです。JR東日本が裁判所にも信用されていないことを示す事件です。私たちの絶対反対の闘いは、裁判でも会社のデタラメを暴き出しています。しかし、私たちは「他力本願」ではありません。最後に勝負を決めるのは、現場労働者が腹を決めて立ち上がることです。とりわけ、これからの人生を切り開く青年労働者が立ち上がるのが一切を決めます。動労水戸の仲間と共に、声を上げ、立ち上がろう!

労働者・住民への被曝強制に手を貸してはならない